

第33回 九州産業大学 公開講座

柿右衛門様式磁器の世界

日本が世界に誇る柿右衛門様式の陶磁器は日本の陶磁器界の発展に貢献したばかりではなく、西洋の最初の磁器であるマイセン焼の発明を促すとともに西洋の陶磁器文化の発展に大きな影響を与えました。

本講座では、本学における21世紀COEプログラム「柿右衛門様式陶芸研究センタープログラム」の研究成果の一端をご紹介します。

平成19年

日時 9月8日／9月22日／9月29日／10月6日／10月13日／10月27日
 毎回土曜日 10時40分～12時10分(但し、9月29日は9時～17時)

場所 九州産業大学キャンパス
 1号館2階N203番教室
 福岡市東区松香台2丁目3-1

定員 50名 **受講料** 1,000円
 ※初回、受付にて徴収いたします。(現地学習は別途実費を徴収)

第1回

9月8日(土)
 10:40～12:10

「ドイツ・オランダにおける柿右衛門様式磁器調査報告」

柿右衛門様式陶芸研究センター 下村耕史 事業推進担当者
(芸術研究科 教授)

17世紀にオランダ東インド会社により長崎の出島からヨーロッパに輸出された伊万里磁器のなかでも柿右衛門様式磁器は、特に高級品としてアウグスト強王を初め多くの王侯貴族に尊重され、今日もその多数が美術館と城館に保存陳列されています。同磁器はバロック時代の「磁器の間」を彷彿とさせる宮殿の広間で、豪華な室内装飾と見事に調和しながら現在も飾られています。今回COEで調査できた同磁器を紹介し、その特色を明らかにします。

第2回

9月22日(土)
 10:40～12:10

「柿右衛門様式がヨーロッパに与えた影響について」

柿右衛門様式陶芸研究センター 櫻庭美咲 COE研究員

有田の磁器は、17世紀以降ヨーロッパの王侯貴族に熱狂的に愛好されました。特に柿右衛門様式磁器には人氣が集中し、マイセンなどヨーロッパ磁器窯による模倣が盛んとなりました。ただし、こうした模倣は、実はあまり長く続きませんでした。ヨーロッパの磁器生産は東洋的な作品からヨーロッパ的な作品へと変化し、以来ヨーロッパ的な美の追求が定着して今日に至ります。本講座では、ヨーロッパで模倣された柿右衛門様式作品の美的表現の特徴、その後、磁器がヨーロッパ芸術を表現する素材へ変化した理由をご紹介します。

第3回

9月29日(土)
 9:00～17:00

「柿右衛門様式磁器－現地学習」

柿右衛門様式陶芸研究センター 梶原茂正 事業推進担当者
(芸術研究科 教授)

江戸時代に佐賀県有田町で制作された柿右衛門様式磁器の謎を解明するため、当センターの研究グループは意匠、技法、歴史の三部門に分かれて研究しています。今回は技法部門より有田町での現地学習を企画しました。内容は材料の採掘現場、制作現場および完成品に至るまでの一連の工程や磁器の学習を行うため、泉山磁石場、有田町歴史民俗資料館、柿右衛門窯、佐賀県立九州陶磁文化館の見学を予定しています。

第4回

10月6日(土)
 10:40～12:10

「英国貴族の館にみる柿右衛門様式磁器」

柿右衛門様式陶芸研究センター 古橋千明 COE研究員

柿右衛門様式磁器は、17世紀から18世紀にかけて大量に欧州に輸出され、彼地の王侯貴族に愛でられ宮殿に飾られました。18世紀には欧州諸窯でその模倣作品が数多く制作されました。当時、一つの文化的現象であったといえる柿右衛門ですが、散逸したコレクションも多く、当時の実像はまだ謎を秘めています。本講座では、英国に的を絞り、今日まで貴族の館に伝わる作品を見ながら、同国における受容について考えていきます。

第5回

10月13日(土)
 10:40～12:10

「柿右衛門の美－美しさを支えた技術」

柿右衛門様式陶芸研究センター 朴 泰成 事業推進担当者

初代酒井田柿右衛門による赤絵の創始、有田における色絵専用の素地の開発など、日本陶磁史上の画期的な技術革新は、多様な文様表現を可能にし、柿右衛門様式という一つの様式として元禄期(1688～1704)に完成されました。柿右衛門様式に関する研究は、考古学的調査をもとにその全容が明らかになってきましたが、それは経済的、歴史的側面を中心とすることから、産業商品としての価値や技術、生産過程に関するものが多く、材料についての探求はあまり進んでいません。本講座では、柿右衛門様式磁器の材料と制作技術の研究を通じて、その様式の美意識をあらためて考えてみます。

第6回

10月27日(土)
 10:40～12:10

「有田と新しいデザインの試み」

柿右衛門様式陶芸研究センター 釜堀文孝 事業推進担当者
(芸術研究科 教授)

日本で有数の磁器の産地である有田には新しいものと古いものが混在しています。ここでは今、至福のとつくりシリーズや究極のラーメン鉢、至高の焼酎グラス等商品開発のいろいろな試みがされています。これら新しい動向を紹介します。また、当センターではCOEの一環として土型の3次元測定、NCによる再現、データベース等を商品開発の面から取り組んでいます。これらの事例について紹介します。

受講 手続

申込
方法

所定の受講申込書により、郵送もしくはFAXでお申し込み下さい。
Eメールでお申し込みされる場合は、受講申込書の内容のとおり、氏名（ふりがな）、性別、年齢、住所、郵便番号、連絡先及び職業をご記入の上、下記までお申し込み下さい。

申し
込み先

九州産業大学 総務部 学外連携課 公開講座係
〒813-8503 福岡市東区松香台二丁目3-1
TEL:092-673-5495 FAX:092-673-5599
E-mail:gakugairenkei@ip.kyusan-u.ac.jp

申込
締切

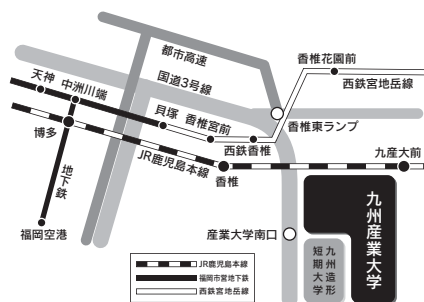
平成19年8月31日(金)まで。
※締切以降であっても定員に達するまで随時受付を行います。

特典

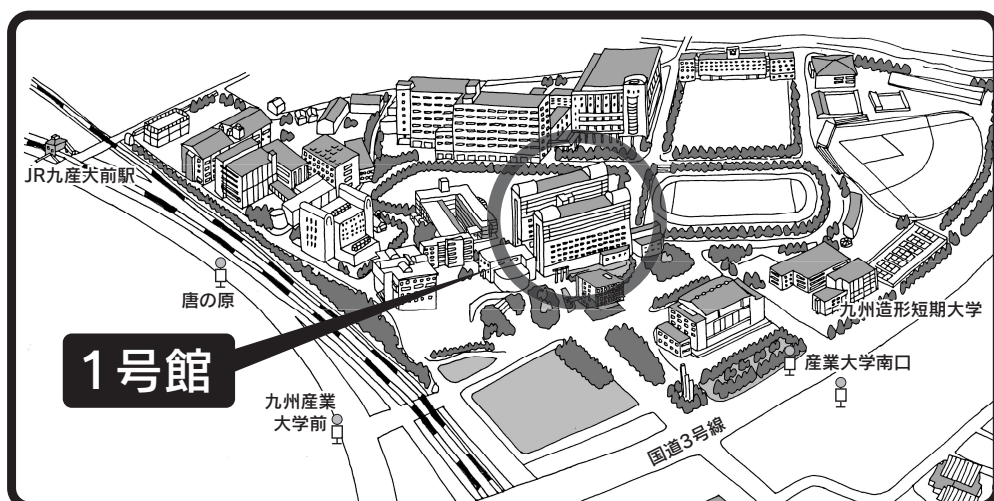
- ①当公開講座の受講期間中、九州産業大学美術館入館料は無料です。
- ②受講生の図書館利用登録料は200円です。（登録後、年度内利用可）

九州産業大学キャンパスへのアクセス

ACCESS



- ◎JR鹿児島本線／普通電車で
「九産大前」駅で下車、博多駅から約15分
- ◎西鉄バス／天神バスセンターから
都市高速「赤間」行き
「産業大学南口」バス停で下車、
天神バスセンターから約15分



第33回 九州産業大学 公開講座 「柿右衛門様式磁器の世界」 受講申込書

(ふりがな) 氏 名	男 ・ 女 才					
住 所	〒					
連 絡 先	自 宅： 携帯電話： Eメール：					
職 業 数字に○を 付して下さい。	1 会社員	2 自営業	3 公務員	4 教員	5 学生	6 無職
	7 その他()					

※ご記入いただいた個人情報は、公開講座期間中の受付名簿や受講者への緊急な連絡及び次回の公開講座のご案内を行う場合に活用させていただきます。それ以外の目的には使用いたしませんのでご了承ください。